

三浦豪太 プロフィール [プロスキーヤー、冒険家]

所属：(株) ミウラ・ドルフィンズ

生年月日： 1969年8月10日

1969年 神奈川県鎌倉生まれ。三浦ファミリーとしてアフリカ、キリマンジャロを最年少(11歳)登頂、また小学生時代にエルブルース(ロシア)、モンテローザ(スイス)などの海外遠征に同行する。

‘91年よりフリースタイルスキー、モーグル競技へ転向、以来10年にわたり全日本タイトル獲得や国際大会で活躍。主な戦績として長野オリンピック13位、ワールドカップ5位入賞など日本モーグル界の牽引的存在となる。

1999年に大学へ復学。2001年5月、米国ユタ大学スポーツ生理学部卒業後、(株)ミウラ・ドルフィンズにて冬季オリンピックやフリースタイルワールドカップ解説と企画、執筆活動やプロスキーヤーとして活躍するかたわら2003年、父・三浦雄一郎とともに世界最高峰エベレスト山(8848m)登頂、初の日本人親子同時登頂記録を達成する。’06年にはシシャパンマ8024mに登頂成功。現在、ミウラ・ドルフィンズ低酸素・高酸素室のトレーニングシステム開発研究所長、順天堂大学医学部博士号を習得中、低酸素下における遺伝子発現・抑制の研究(専攻・加齢制御学 アンチエイジング)を行い、また子供から高齢者までの幅広い年齢層やアスリート向けのトレーニング及びアウトドアプログラムを国内外で数多く手がけている。(社)アンチエイジングリーダー養成機構・専務理事、[財]全日本スキー連盟指導員

1981年	アフリカ、キリマンジャロ(5895m)を最年少(11歳)で登頂
1983年	アメリカ留学
1988年	ユタ州ローランドホール学院を卒業、同年ユタ大学入学
1991年	全日本フリースタイル・チームに選ばれる
1994年	リレハメル冬季オリンピック(ノルウェー)出場、27位
1995年	フランス、ラクルーザ世界選手権14位
1996年	ワールドカップ 総合17位
1998年	長野冬季オリンピック13位、同年ブラッコムワールドカップ5位
2000年	ワールドカップ長野斑尾大会解説
2001年	ワールドカップ福島大会、長野飯綱大会解説
2001年	ユタ大学スポーツ生理学部卒業
2001年	(株)ミウラ・ドルフィンズ 入社
2001年	ヒマラヤ、アイランドピーク(6,152m)登頂
2002年	ヒマラヤ、チョオユウ(8,201m)登頂
2003年	世界最高峰 エベレスト(8,848m)登頂 初の日本人親子同時登頂記録達成
2006年	シシャパンマ(8012m)登頂成功
2008年	エベレスト(8,848m)遠征。8200m地点に到達後、高所脳浮腫を発症して奇跡的に生還する。

賞： 北海道教育委員会スポーツ賞、オリンピック認定賞、
米国・ローランドホール学院ヘッドマスター(最優秀成績)

メディア関連

筋肉番付“SASUKE”に出場

2002年 ソルトレークオリンピック解説

2006年 トリノオリンピック解説

2010年 バンクーバーオリンピック解説

2001—2010年 国内外 フリースタイル モーグルワールドカップ解説

2001年—2003年 J-スカイスports モーグル中継解説担当(計7試合)

ブラボースキーコラム連載

ブルーガイドスキーにてコラム連載

現在、日経新聞にて「三浦豪太の探検学校」コラム連載中 (土曜夕刊) (2008年1月～)

1998—1999年ワールドカップモーグルビデオ解説(山と溪谷社)

1995—1999年ワールドカップモーグルビデオ出演

2008年 映画「銀色のシーズン」に解説役として出演

著書：「父の大きな背中」～三浦雄一郎と僕の冒険物語	実業之日本社
「三浦家のいきいき長生き健康法」	廣濟堂出版
「三浦家の元気な食卓」	昭文社
「生きがい」	山と溪谷社
ビデオ：「The Mogul、三浦豪太のモーグルテクニック」	双葉社
「Power Mogul ターン編、エアー編 2枚組み」	双葉社